

# わかやま 県議会 だより

## 2月定例会号

No.40 平成30年[2018]  
5月13日発行(年4回発行)

主な記事  
2~3面 平成30年2月定例会の概要  
4面 議会活動  
県議会からのお知らせ

QUIZ & PRESENT

# クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

「図書カード」を10名様にプレゼント!!

◎ 県においては様々な計画に基づいて施策が進められています。2~3面に記載されている計画のうち、1つをお答えください。

応募方法: 4面をご覧ください。



愛着ある元気な

# 和歌山の実現に向けて

## 平成30年度当初予算を可決

一般会計当初予算額 5,535億円

いのち  
を守る

しごと  
を創る

ひと  
を育む

くらしやすさ  
を高める

地域  
を創る

**予算特別委員会 質問委員8人**  
3月9日(金) 花田 健吉・中本 浩精・奥村 規子・中 拓哉  
3月12日(月) 長坂 隆司・秋月 史成・菅原 博之・服部 一

**問** 県産オリジナル米の品種改良について  
**答** 県の農業系の試験研究機関では、現在、実際に農業に従事されている方や県からの提案を全て畑上(はたかみ)にのせ、県が持つ資源も踏まえて農業団体関係者や専門家に議論してもらい、3年間で実施する研究のテーマを決めています。米の品種改良となると3年ごとに延長する形になりますが、他の提案されたテーマと比較しながら議論していきたいと考えています。

**問** 仕事と子育てがしやすい環境づくりについて  
**答** これまで、多子世帯の保育料等の無償化や妊娠・出産から子育てまでのワンストップ相談窓口の整備などを行ってきた。29年度からは、育児休業や子供の看護休暇などの制度が整った企業等により「わかやま結婚・子育て応援企業同盟」を結成して先進的企業の表彰や情報交換を行うなど、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを広げていきます。

**問** I-R(カジノ)に関する予算、取組状況及び県民合意の進め方について  
**答** 新年度予算では県勢活性化企画調整事業で、I-R誘致実現のためのコンセプトの募集を行い、また、インフラ整備の必要性について検討します。これまで、和歌山I-R推進協議会の設立、I-R事業者への接触などの誘致活動に取り組むとともに、県内でシンポジウムを開催してきました。今後も正確な情報の提供を通して、県民の理解を深めていきます。

**問** 犯罪被害者支援条例の制定について  
**答** 犯罪被害者支援については、国が「犯罪被害者等基本法」等を制定し、総合的な支援を行っています。本県でも、「和歌山県安全・安心まちづくり条例」に被害者支援を明記して取り組んでいます。犯罪被害者支援条例については、既に10県で制定されていることから、必要性について検討していきます。

**問** 台風21号による南海本線橋脚沈下事故を受けた同線紀ノ川橋梁の緊急点検の状況について  
**答** 南海電鉄によると、紀ノ川橋梁は台風の被害を受けた橋脚とは異なり、河川部分には基礎が支持地盤に到達するまで地中に敷設されている安定した構造であるとのことでした。緊急点検については、昨年11月に南海電鉄が橋脚の洗掘調査を実施し、安全性に変化がないことを確認しています。県では今後も、安全性の確保を働きかけていきます。

**問** 県立高校の校内人事における教職員による学年主任等の推薦投票について  
**答** 当該校では、校長が参考とするために行ったもので、校長の決定を制約する可能性は否めませんが、最終的には校長

が決定するため、学校教育法には抵触していないと考えます。しかし、不審を抱かせるもので、また、教育委員会の指導も不十分で、誠に遺憾です。校長には厳しく注意し、直ちに改善させました。

**問** コンパクトシティへの道程について  
**答** コンパクトシティや歩く楽しみを感じるようなまちづくりは、まちの発展や観光の振興に役立ちます。「車の利用はほどほどに」というライフスタイルを可能にするには、機能が集中した中心市街地をつくり、その外縁部に駐車場を確保して、まちなかを散策できるようにすれば、理想に近づきます。そのためには、都市計画やゾーニングなどにより、都市の外縁的拡大に歯止めをかけていく必要があります。

**問** 試験場や研究所の充実による農林水産業の振興について  
**答** 農林水産業は本県の基幹産業であり、技術でそれを支える試験研究機関の充実が重要です。現場の要望を受けた競争力アップのための研究が、みかんや柿、いちごなどの優良品種に実を結んでいます。十分な圃場面積の確保や建物の改修を計画的に行い、また、重要な研究課題には重点的に人員を充てるなどの取組をしていきます。



# 2月定例会の概要

2月21日～3月16日の24日間

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件 (知事提出)	32件	平成30年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件 ( // )	42件	知事及び副知事の給与その他の給付 条例の一部を改正する条例等	
人事案件 ( // )	2件	和歌山県教育委員会の教育長の任命 につき同意を求めるについて等	同意
その他案件 ( // )	21件	平成30年度建設事業施行に伴う市町 村負担金について等	可決
意見書	2件	国民健康保険における子供の均等割に 軽減措置の導入を求める意見書	否決
		浸水被害の回避等を目的とした断面確 保のための中小河川の河道掘削の予 算の確保等を求める意見書	可決

## 一般質問議員 20人

3月2日(金)	3月5日(月)	3月6日(火)	3月7日(水)	3月8日(木)
山田 正彦 多田 純一	新島 雄 岩井 弘次 雑賀 光夫 泉 正徳 川畑 哲哉	濱口 太史 藤本眞利子 玉木 久登 片桐 章浩 立谷 誠一	森 礼子 岩田 弘彦 谷口 和樹 中村 裕一	藤山 将材 浦口 高典 山下 直也 井出 益弘

## 会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
  - 防災・国土強靱化対策特別委員会……………3/5
  - 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会……………3/6
  - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会……………3/8

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

### 知事の政治姿勢

**問** 今秋、知事は3期目の任期満了を迎えるが、引き続き県政を担う強い意志があるのか。

**答** 課題山積の和歌山県ですから、知事たる地位にある私は、新たな県長期総合計画に沿ってこれまで以上に全力で職務に当たらなければなりません。しかしながら、私の任期もあと1年を切りました。県民の皆様がご許しくださるなら、ぜひもう1期、知事として県政を担当させてもらいたいと思います。

### 県都和歌山市の都市づくり

**問** 知事はコンパクトシティ計画を策定した市町を積極的に応援すると言っているが、和歌山市が進めている都市づくりに対する見解はどうか。

**答** 和歌山市では、市街地再開発事業を活用した「まちなか居住」の誘導や大学の誘致など、にぎわいのあるコンパクトな都市づくりを進めており、非常によい雰囲気になってきています。これからは機能の集積なども行っていけばよいと思っており、県として引き続き応援・協力をしていきます。

### 新六ヶ井堰の全撤去

**問** 浸水被害のあった地元から新六ヶ井堰の完全撤去と堰上流部の河床掘削の要望があるが、どう考えているのか。

**答** 国の紀の川水系河川整備計画では、下流部において一定の整備が完了していることを受け、岩出狭窄部対策や藤崎狭窄部対策など中上流部の整備が位置づけられており、新六ヶ井堰の完全撤去や堰上流部の河床掘削は次の課題となっています。国に現在実施中の岩出狭窄部対策などの着実な事業進捗を働きかけるとともに、早期撤去等の要望があることも確実に伝えていきます。

### 社会的不適応問題

**問** 社会的不適応行動を起こす個人へのアプローチを丁寧にやった結果、大きな成果を出している佐賀県のNPO法人の取組についての所見を伺いたい。

**答** 本県では、不登校、ひきこもり、ニート対策が、佐賀県のように1つの法人で実施されていないことから、関係機関が連携し、それぞれの対策を切れ目なくつなぐことが重要となっています。このことから相談員のスキルアップや関係機関と協働した訪問支援の強化など若者の自立支援を充実させたいと考えます。

### 学校における指導死の問題

**問** 全国的に問題になっている指導死という問題についてどう考えているのか。

**答** 教職員の厳しい指導や叱責、体罰等が原因で子供の尊い命が失われることは、絶対にあってはならないことです。児童生徒の人格を尊重し、個性を伸ばしながら寄り添い、指導方法を工夫・改善することが必要と考えます。

### 企業立地の成果と今後

**問** 知事就任以降における企業立地の成果と今後について伺いたい。

**答** 就任以来、11年余りで181社の企業を誘致しています。県としては、引き続き、工業団地や交通インフラのさらなる整備を行うとともに、全国最高水準の奨励金制度などをアピールし、企業誘致に全力を挙げていきます。

### 健康長寿日本一「わかやま」の実現

**問** 「健康長寿日本一わかやま」の実現に向けた取組と知事の決意はどうか。



**答** 「わかやま健康と食のフェスタ」や健康づくり運動ポイント事業、健康推進員に関する施策を一層進めるとともに、毎年度、健康増進計画の達成状況を検証します。県民がいつまでも元気で暮らせるよう、新しい施策も取り入れ、健康づくり県民運動を積極的に展開していきます。

### 在宅育児支援

**問** 平成30年度新政策における在宅育児支援をはじめとする子育て支援について伺いたい。

**答** 県長期総合計画に掲げた、2026年における合計特殊出生率2・00を達成するため、これまでの事業成果を踏まえ、保育料等の無償化の対象を所得制限を設けたうえで第2子まで拡充します。さらに、国においてもまだ検討されていない0歳児を在宅で育児する世帯への経済的支援にも取り組んでいきます。



### 第3次がん対策推進計画の目標

**問** 平成30年度からの第3次がん対策推進計画では、どのような目標を立てているのか。

**答** この計画では、「がんの75歳未満年齢調整死亡率の低減」、「科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」、「患者本位のがん医療の実現」、「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」の4つの大目標を設定しています。この計画に基づいて、総合的ながん対策を推進していきます。

### 車椅子使用者用駐車区画の屋根の設置

**問** 和歌山ビッグホエールの車椅子使用者用駐車区画において、乗降時に濡れないように屋根を設置できないか。



**答** 屋根の設置は、県福祉のまちづくり条例に義務づけはななく、配慮事項としていますが、他の公共施設の整備状況にも十分留意しつつ、設置基準や設備について、関係機関とともに検討していきます。

### 社会福祉施設における介護人材の確保

**問** 県内において、介護従事者の1年以内の離職率が高い現状をどう考えるのか。

**答** 平成27年度に実施した本県の独自調査によると、事業所の全従業員数に占める非正規職員の割合が約4割を超え、その離職率が正規職員よりも高いことが主な原因で全国的にも同様の傾向ですが県では、介護職に対する正しい知識の普及に向け保護者や学校の進路指導担当者に啓発してきます。

### 災害時の人工透析提供体制

**問** 災害時における人工透析患者の把握と透析治療対策はどうか。

**答** 災害時にかかりつけ透析医療機関で治療が可能かなどを案内する「わかやま透析安心メール」システムを平成20年度から運用しています。今後、新規の透析患者の登録を的確に進めていくとともに、災害時に、透析患者が確実にメールの受信・送信ができるよう、繰り返しメール配信訓練を行い、システムの実効性を高めるなど、災害時の人工透析提供体制の確保を図っていきます。

### 特別支援教育の推進

**問** 障害のある子供に対する個別の教育支援計画「つなぎ愛シート」の活用推進に向けた今後の方針について伺いたい。

**答** 「つなぎ愛シート」については、特別支援学校で既に活用が始まっていますが、市町村教育委員会とも連携を進め、平成30年度からは全ての小中学校の特別支援学級や通級指導教室に在籍する児童生徒に対しても導入される予定です。今後、切れ目のない支援の実現に向け、効果的な活用を進めます。

#### つなぎ愛シート

障害のある子供の成長の記録や長期的な視点に立った支援の目標等に関する情報を記載する「個別の教育支援計画」の県内統一様式

### 鯨文化の持続に向けた支援

**問** 捕鯨の正当性を訴えるための情報発信についてどうか。

**答** 今後も反捕鯨活動は沈静化せず、更なる攻撃も予想されるため、これまで以上に Facebook や Twitter などの情報媒体やいろいろな機会を活用して、イルカ漁の正当性を発信していきます。



古式捕鯨の絵

### 第三者行為求償事務の取組強化

**問** 平成30年度から県も国民健康保険の運営責任者となることを踏まえ、第三者行為求償事務の取組強化に対する意気込みを伺いたい。

**答** 交通事故等により生じた損害の責任は加害者が負うのが当たり前で、市町村は当然、第三者行為求償事務に取り組みねばなりません。これまで県は市町村の取組に対し財政支援などを行ってきましたが、今後は県が財政運営の責任主体となり、より一層積極的に取り組み、国保財政の安定化を図っていきます。

#### 第三者行為求償事務

交通事故等、第三者（加害者）の不法行為によって生じた保険給付について、保険者（市町等）が立て替えた医療費等を加害者に対して損害賠償請求すること。

### 木質バイオマス発電

**問** 木質バイオマス発電は地方創生の一助にもなると期待され、これにより木材需要の拡大が見込まれる中、どのように取り組んでいくのか。

**答** 遠隔操作が可能な油圧式集材機など省力化につながる搬出技術の導入により積み替えコストや運搬コストの低減を図るとともに、燃料原木の運搬経費支援などにより、流通体制の総合的な整備を進めていきます。バイオマス発電所の立地は林業振興の大きなチャンスであり、今後とも供給体制の整備に積極的に取り組んでいきます。

### 住宅宿泊事業法施行条例

**問** 民泊を特区等により先行実施している他府県では周辺住民とのトラブルが多いようである。責任ある管理運営を求めたいが、問題発生時の迅速な対処について条例案にはどう規定しているのか。

**答** 事業者の管理責任を定める規定については、周辺住民が反対していないことの確認や管理者が近くに駐在すること等を義務付けています。

#### 民泊

個人宅の一部やマンションの空き部屋などに有料で旅行者を宿泊させること。

### キャッシュレス決済の普及促進

**問** 外国人観光客向けに、QRコードを用いたキャッシュレス決済の普及促進に取り組んでどうか。



**答** キャッシュレス決済は、外国人観光客の利便性向上や消費誘発の観点から有効な手段と考えます。QRコードを活用したシステム等、最新の決済システムの紹介・普及を図り、観光客の消費拡大に努めます。

# 県議会からのお知らせ Information

## テレビ・ラジオ放送



定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

### テレビ テレビ和歌山(WTV)

**県議会だより(予定)** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送  
(6月定例会の放送 6/13、20~22、25、29)

**県議会手話だより(予定)** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送  
(6月定例会の放送 7/10)

### ラジオ 和歌山放送(WBS)

**県議会ダイジェスト(予定)** 開会、質問、閉会日の21時30分から15~30分間放送  
(6月定例会の放送 6/13、20~22、25、29)

## 県議会ホームページ



和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

## 傍聴してみませんか



- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

### 平成30年6月定例会 会期日程(予定)

本会議	6月12日(火)・13日(水)
本会議(質問)	6月20日(水)~22日(金)・25日(月)
常任委員会	6月26日(火)・27日(水)
本会議	6月28日(木)・29日(金)

※手話通訳者・要約筆者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 「点字版、CD版」の案内



本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。詳しくは県議会事務局まで。

## QUIZ & PRESENT

# クイズ&プレゼント

**【応募方法】** ハガキへ、①クイズの答え(計画を1つ)、②〒住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥「わかやま県議会だより」のご感想を記入のうえ、**6月1日(金)〈消印有効〉**までにご応募ください。

**【応募先】** 〒640-8585(住所不要)  
県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
※皆様の個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

# Topics

## 議会活動の紹介

本会議においては、坂本登議員が「関西広域連合における農産物の海外展開」について質問し、「人口減少による国内市場の縮小が見込まれる中、2020年の東京五輪に向け、多くの訪日外国人が日本の素晴らしい食文化に触れる今こそ、関西の農産物の海外展開に一層力を入れる絶好の機会であるが、輸送手段の整備等が重要な課題と考える。輸送手段については、完全24時間運用の関西国際空港の強みを生かし、関西周辺地域に農産物輸出・加工センターを整備してはどうか。また、農産物の鮮度を維持し、傷を付けずに輸送する技術の開発等のため、生産者団体、輸送業者などが共同で技術開発を行う推進組織を設置してはどうか」とたどりました。

本質問に対し、仁坂副連合長(和歌山県知事)から「海外への販路拡大の重要性や関空が大きな武器となることは議員指摘のとおりである。空港内にある輸出用の大規模な低温保冷倉庫には余裕があるので、関西の特産物の販路拡大等で、まずこの施設が十分活用されるようにしたい。また、輸送技術開発のための推進組織の設置については、各府県で輸出関心品目が異なり、それぞれ別々に研究しているが、広域連合として共通する具体的な研究テーマを見つけ、共同で研究に取り組めればと思う。広域農林水産担当の和歌山県としても研究し、各府県市に提案してまいりたい」との答弁がありました。



坂本 登 議員  
3月3日、関西広域連合議会3月定例会が大阪府立国際会議場(大阪市)で開催され、本県議会からは、坂本登議員、藤山将材議員、片桐章浩議員の3名が出席しました。

## 関西広域連合議会3月定例会



## 特別委員会の活動リポート

次の4つの特別委員会では、昨年6月の定例会において委員の選任が行われ、正副委員長が互選されました。その後の活動について紹介します。

**人権・少子高齢化問題等対策特別委員会**  
昨年9月と本年3月に委員会を開催し、県の施策の現状等について審議しました。  
3月の委員会では、関係当局から人権問題や少子・高齢化問題等対策の現状と今後の取組状況を聴取し、委員からは子供の貧困や保育料の無償化などについて質疑等が行われました。

**行政改革・基本計画等に関する特別委員会**  
昨年12月と本年3月に委員会を開催し、議案の審議等を行いました。  
3月の委員会では、関係当局から中期行財政経営プランの取組状況を聴取し、委員からはモバイル勤務やテレワークの実証実験等の具体的取組、行政需要の変動と職員数を踏まえた1人あたりの業務負荷、施策効果の減退を踏まえた事業廃止などについて質疑等が行われました。

**半島振興・地方創生対策特別委員会**  
昨年9月に委員会を開催し、関係当局から半島振興・地方創生の現状と今後の課題について聴取するとともに、委員からは統計局の移転などについて質疑が行われました。

**防災・国土強靱化対策特別委員会**  
昨年9月と本年3月に委員会を開催し、県の施策について審議するとともに、1月に県内調査を実施しました。

## 防災・国土強靱化対策特別委員会の県内調査

防災・国土強靱化対策特別委員会では、1月30日に岩出市において調査を行いました。  
県では、災害時の緊急輸送の強化等を図るため、高速道路と合わせて県内の一体的発展に寄与する幹線道路を整備しています。岩出橋の架替工事現場においては、平成30年度末の4車線供用開始に向けた県道泉野岩出線等の改良事業について、工事の進捗状況などの説明を受けました。  
また、紀の川の岩出狭窄部では、地形の関係から川幅が狭くなっているため、台風などの大雨の際、紀の川市等で出水被害が発生しており、国土交通省が対策事業を実施しています。岩出頭首工(堰)近くの紀の川において、平成28年度から概ね5年間で実施されている堰付近の拡幅水路の整備と堰上流部の河道掘削等について説明を受けました。



いつもクイズ&プレゼントにご応募いただきありがとうございます。

毎回、多数のご応募と県議会だよりへのご意見をいただきありがとうございます。これからも県民の皆様の意見を参考に、より親しみやすい紙面づくりに取り組んでいきます。